



# Eジャーナルしずおか

平成24年(2012年)  
10月5日  
金曜日  
第101号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyouei\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 豊かな人間性を育む 「共生・共育」

思いやりの心を育み、コミュニケーション能力向上にもつながる、と評価が高い「共生・共育」は、手でした。

また、今年度から分校においても、PTAが組織されました。高校の文化祭のPTA活動(バザー)に一部参加するなどして、今後のPTA活動における協力について、検討を始めました。

また、今年度から分校がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

## 目指せ223(ふじさん)マスター! ~学校の校外学習にも使える!「すこめぐり223」で静岡を巡ろう~

「すこめぐり223」は、「産業遺産」「偉人先人ゆかりの史跡」「民話・伝承の舞台」等、静岡県の知る人ぞ知る多彩な文化資源を、より多くの人に実際に訪れてもらうために開発された、スマートフォンのアプリです。

使い方はとても簡単。県内200か所、県外23か所の「静岡県にまつわる文化資源」を訪れ、位置情報を取得すると、各地点でカードとポイントが入手できます。カードには、訪れた文化資源のイラストと、説明文が記載されているので、楽しみながら、郷土の知識を深められます。



実際の写真と並べブログで紹介するのをもたためるし

ポイントがたまると、「清水名物つけカレー缶」や「西伊豆ガラスのペアグラス」など静岡の名産品が当たるプレゼントに応募可能。高得点のプレゼントは当選確率が高いかも…。

さらに、地歴ファンをうならせるマニアックな仕様として、歴史や文化に関して共通点やつながりを持つカードを揃えると、ボーナスポイントが加算される「コンボ」を用意しました。コンボを推理しながら効率よくポイントを集めましょう。

公開から半年で、既に1800人以上の方にお楽しみいただいている「すこめぐり223」。無料であなたもチャレンジ!!

【すこめぐり】検索欄 問 県文化政策課 課054(221)3340



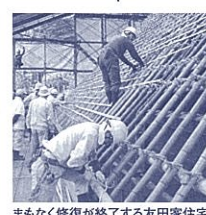
電気科授業での交流

今年度の「文化財クローズアップ」では、古民家の持つ建造物としての魅力を掘り下げるとともにその活用を考えるシンポジウムを開催します。パネリストには、奈良県の建築家・藤岡龍介さん、国登録有形文化財「旧菅沼家住宅・知半庵」庵主・あわやのぶごさんを招き予定します。

藤岡さんは、関西を中心に、町家や民家の保存・再生・活用に取り組んで

お招きする予定です。 友田家住宅 友田家住宅 友田家住宅 (森町久保3306)

開催日 11月10日(土) 会場 友田家住宅 友田家住宅 友田家住宅 (森町久保3306) 交通 駐車場はありません。天竜浜名湖鉄道遠州森駅からシャトルバス



まもなく修復が終了する友田家住宅



友田家では所有者の御夫妻が待っています!

本校生徒会長の挨拶に続き、伊豆松崎分校の生徒代表が挨拶をすると、会場から自然に大きな拍手が起こりました。校舎を利用した巨大絵画作品の共同制作のほか、ところてんの販売、学習成果発表



餅つき交流

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆



北嶺祭・体育の部での交流(むかへ競争)

文化祭閉会式でのこと、本校生徒会長の挨拶に続き、伊豆松崎分校の生徒代表が挨拶をすると、会場から自然に大きな拍手が起こりました。校舎を利用した巨大絵画作品の共同制作のほか、ところてんの販売、学習成果発表

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、今年度から分校がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

また、今年度から分校がますます強くなっています。北高生は、障害のある同世代の生徒と接することに、思いやりの心を育んでいます。

また、教職員は、特別支援教育をテーマにした校内研修を行っており、今年度は全員で分校の授業参観をしました。

また、本年度の活動は、4月の対面式から始まり、防湖訓練、野球応援、佐鳴湖クリーン作戦、LHR交流、保健委員会での活動などで、「共生・共育」を推進しています。

その中で、本校が工業高校であるという特徴を生かし、昨年度は機械科と、本年度は電気科との授業交流を行いました。

授業後の両校生徒の感想は、またこのような機会を持ちたいという意見がほとんどであり、城北工生からは、「飲み込みが早く驚いた」「作業が早く丁寧だった」等、分校生が一生懸命に取り組む姿勢を認める言葉がたくさん出ました。「自分自身が教える立場になって色々と再確認したり発見したりすることができ、とても良い経験になった」という感想もありました。

分校生が、全学年揃って来年度は、新たな教育活動を展開し、「共生・共育」を推進します。

また、情報処理部によるパソコン教室では、分校の生徒がワープロ検定に初めて合格しました。

このように、「富士宮分校との「共生・共育」は2年目を迎え、交流の絆

## 古民家で和らおう!

今年の文化財クローズアップ  
テーマは「古民家の魅力を探る」

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。

古民家と聞いて皆さんは何をイメージしますか。茅葺きの屋根、大黒柱や大きな梁、土間のかまどやなまこ壁…。このような特徴を持つ日本の伝統的家は、地域の風土や文化を伝える大切な文化財です。

しかし、都市化が進む中で県内でも多くの古民家が取り壊されたり空き家になったりしています。

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。

「古民家の魅力を探る」をテーマに、古民家の魅力を紹介します。また、あわやさんは、御自身の生家である旧菅沼家住宅(伊豆の国市)を会場に、江戸と現代など諸文化の交差する要素を持った「知半庵」プロジェクトを主催しています。コーディネーターは、県内伝統建築に造詣の深い本県文化財保護審議会会長の建部恭直さんをお願いします。お二人の取組を紹介し、古民家が、その魅力的な個性を発揮し、人々が集う場所へと生まれ変わる手立てを探ります。



実践NOTE 41

# 動物園との連携 ホッキョクグマの毛の観察

浜松市立庄内中学校 教諭 石原貴志



## いろいろな観察

【実験観察1】「体毛が透明であること」の観察

ホッキョクグマの毛は、肉眼で見るとどちらも白い色をしています。しかし、ホッキョクグマの毛は実は透明です。そこで、2種類の白い毛を顕微鏡で比較観察させました。ホッキョクグマの毛が明らかに透けているのが分かりました。

## ホッキョクグマとの出会い

中学2年「動物のなかま」では、単元の導入で生徒がよく知る特徴ある動物(一部分)の観察を行いたいと考えました。資料を調べて該当する動物を探していた時、動物園会報でホッキョクグマの興味深い特徴を知りました。

## 教材として使えるのか?

浜松市動物園にホッキョクグマの体毛を実験教材として提供していただくか確認したところ、近隣の学校でもあるからと、快く了承していただきました。また、観察で比較するためにホッキョクグマの毛やトラやウサギなどの毛皮も貸していただくなど、全面的に協力をしていただきました。



## 【実験観察2】「体毛が空洞である」ことの観察

毛細管現象を利用し、染色液を空洞の中に入れて顕微鏡で観察させました。体毛をスライドガラスに寝かせて、横から見られるようにしたプレパ



## 【実験観察4】「体毛のライトガイドの働き」を調べる実験

ホッキョクグマの体毛が、透明で空洞になっているので、ライトガイド

ラートと、ピスに体毛を挟んで口で固定し、カミソリで輪切りにした横断面のプレパラートの2種類を観察させました。体毛に空洞があることがはっきりとわかりました。

## 【実験観察3】「体毛の保温効果が高いこと」の実験

手のひらの体温を(物体内から出る赤外線)の波長から温度を測定する)放射温度計で測定し、その後、手のひらにホッキョクグマやトラなどの毛皮を乗せた直後と1分後の体温を毛皮越しに放射温度計で測定しました。毛皮の保温効果が高ければ内側の毛皮の測定温度は上がりません。この実験から他の毛皮に比べてホッキョクグマの毛皮の保温効果が最も高いことが分かりました。



ライトガイドの観察

## 生徒の反応

授業実施後、2年生95人にアンケートを取りました。学習意欲や教材の有用性等について尋ねた全ての項目で、9割を超える生徒が肯定的でした。生徒からは「ホッキョクグマの体毛の特徴が、本物を見たり実験をしたりすることで、よく分かった」「いろいろな実験がやられて楽しかった」といった感想が多数みられました。



ホッキョクグマの体毛



ホッキョクグマの体毛

実践NOTE 42

# 「共生・共育」を 目指して大きな成果

静岡県立静岡南高等学校 教諭 西川聖美



筆者(中央)

## 家庭科で合同調理実習

平成16年、静岡南高校内に全国初の高等部のみの養護学校分校として、静岡北養護学校南の丘分校が開校しました。それと同時に「共生・共育」を合言葉に同じ屋根の下で両校の交流がスタートしました。

## 交流は主に学校行事や生徒会活動の他、昼食交流などがあります。

3年生フードデザイン選択者に「共生・共育の調理実習を行います」と説明すると「えっ、何で?」「自分たちでやった方が楽しい」「などの声が出ました。ところが、実際に調理実習を進めて行くとなると南高生徒からは「教えるのは大変だ」と思ったり、逆に南の丘生徒から「教えてもらった」などの感想が聞けました。

## スポーツ・文化で心のふれあい

当初から、特別支援学校総合体育大会に向けて、生徒有志が順送球の練習相手を務めています。体育祭でも南高と南の丘分校の生徒が共に生き生きと競い合い、文化祭でもお互いのステージ演技発表表に心の底から感嘆する姿があります。

校生徒に技術面での差は感じませんが、初めての顔合わせでは、様子をうかがいながら進めるため計画していたよりも時間が掛かってしまうこともあります。また、南高生徒、南の丘生徒の一部にはお互いに遠慮してしまう場面や、「軽度知的障害特別支援」を過剰に意識



## 感性を刺激し、対人能力を育てる

この交流体験が、彼らからされる日は遠くありません。

南高生徒からは「南の丘生徒に、日頃忘れがちなひたむきを教えてもらった」、また、南の丘生徒からは「夏の高校野球と一緒に応援したい」などの声が上がっています。南高生徒にとって「共生・共育」の調理実習は「今しかできない」共生社会への一歩と捉え、共に考え、共に学び、共に喜ぶ(楽しむ)時間を持つことができている。

## 「共生・共育」を進める中で指導要領、教育課程の違う生徒がそれぞれの目的を達成すること

高等学校の科目、南の丘の作業学習で交流する難しさ、施設設備等の調整などの課題はあります。



石が語り掛けてきます

芸術の秋は  
グランシップへGO!  
●水石展  
水石とは、山や川などから自然の状態のまま採取した石を、台座や砂を敷き詰めた水盤に配置してひたひたの世界を創造する、室町時代からの文化です。それを継承している静岡県水石連盟会員による作品の展示を行います。時代を超えた石からのメッセージを感じ取ってください。  
【会期】  
10月20日(土)11時~17時  
21日(日)9時~16時  
【会場】グランシップ  
展示ギャラリー1~3

●写真展  
神秘的な風景や日常生活の何気ないコマ、人物のふとした表情、その瞬間にシャッターを押す作者の息遣いまでもが伝わってくる力作の数々。公募作品の中から選ばれた約60点が公開します。  
【会期】  
10月28日(日)~11月5日(月)  
9時~17時  
(最終日は14時まで)  
【会場】グランシップ  
展示ギャラリー3  
※どちらも入場無料  
【問】県文化政策課  
054(221)2254



# 家族や仲間と ゆつたりすごそう

## 第三回観音山ファミリーDAY

自然豊かな観音山で冬の趣を楽しみませんか。第三回観音山ファミリーDAYでは、スベシヤルプログラムを企画しています。

一つ目は昔の遊び。季節感あふれ、そして温かみのある遊びを楽しむことができます。

二つ目は星座観察。空気の澄む冬の夜空。四季の中でもっとも星座を観察しやすい季節です。満天の星空を見上げながら宇宙の営みを感じることができます。

日時 平成25年1月26日(土)  
1月27日(日)  
参加費 中学生以上2800円  
小学生2600円程度  
幼児1600円程度  
1グルーブ20人まで  
※応募者多数の場合は抽選

申込み 官製はがきに代表者氏名、住所、郵便番号、電話番号、参加予定人数を明記の上、受付期間内に郵送にてお申し込みください。(当日消印有効。応募は1グルーブにつき一口でお願いします。)

受付期間 12月3日(月)～12月17日(月)



自分で五平餅を焼きます

## コラム 言葉の力

スポーツ振興課長 松田 好道



この夏、ロンドンで開催されたオリンピックでもやり直しは大きく。オリンピックでの日本人選手の活躍は、私たち「康介さんを手ぶらぬに、大きな感動と元氣、ス」で帰すわけにはいかない。

「水泳・松田丈志選手「仲間がいなければ、こまで来られなかった」(サッカー・宮間あや選手)など、たくさんの心に残る言葉が大会を通じて生まれました。

永選手が私に「一緒に打とう」と声を掛けてくれました。私のミスでラリーが続いたことがありまして、「下手だから無理です」と言ったら、森永選手は「大丈夫、できる」と言っていました。私にも、長い教員生活で支えとなつてい言葉があります。

女の卓球への姿勢を大きく変えるものとなりました。私にも、長い教員生活で支えとなつてい言葉があります。

です。しかし、もっと大切なことがあります。話を続けました。「どんな話に話が下手でも、唇が確実に読めなくても、その子が愛される価値のある子なら、誰かが、必ず手を差し延べてくれます」。

## 健康寿命日本一の秘密を探れ 「第17回静岡健康・長寿学術フォーラム」参加者募集

開催日	会場	内容	備考
平成24年11月16日(金)	日本平ホテル大ホール(無料送迎バスあり)	薬食健康科学の研究発表	国際学会との共催(日英同時通訳)
平成24年11月17日(土)	グランシップ10階1001-1,2	実務セッション(医療関係者向け)と県民フォーラム(県民向け)	在宅介護の未来、食や笑いと健康など

参加料 無料(交流会(16日フォーラム終了後)に参加する場合は5,000円)  
申込期間 平成24年11月7日(水)先着順、ただし席に余裕があれば当日まで受付  
申・問 静岡健康・長寿学術フォーラム実行委員会事務局 宛  
〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1(県立大学内)  
TEL054(264)5156 FAX054(264)5157  
Eメール health\_and\_longevity@shizuoka-forum.jp URL http://www.shizuoka-forum.jp/

## 子どものインターネット利用を考えるシンポジウム開催

子どもたちのインターネット利用が日常化している中、ネットいじめや犯罪に巻き込まれる危険性が問題になっています。子どもの気持ちを大切にしながら、家庭や地域での情報モラル教育を考えます。

日時 10月14日(日)13時30分～16時30分(受付13時～)  
場所 焼津市総合福祉会館「ウェルシブやいづ」  
内容 基調講演「子どもが使った大丈夫? スマホってなに?」、中学生が考える「インターネット利用」熟議成果発表、パネルディスカッション

※どなたでも参加可能。参加費無料です。詳細についてはお問い合わせください。  
申・問 特定非営利活動法人e-Lunch(イーランチ)  
TEL054(626)2100 E-mail el-w705@sunloft.co.jp

## ふじのくにの中学生・高校生が躍進!!

### 全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会結果発表

全国高等学校総合体育大会が、7月28日～8月20日に新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県の「北信越ブロック」にて行われました。また、全国中学校体育大会は、8月17日～24日に関東ブロックで行われました。

### 平成24年度 全国高等学校総合体育大会結果

順位	競技	種目	氏名	学校名
1位	陸上競技	女子 4×400mリレー	巧	浜松市立
	水泳(競泳)	男子 200m自由形	小松 一	飛龍
	水泳(競泳)	女子 800m自由形	浅山 美貴	磐田農
	体操	女子 種目別 跳馬	井上和佳奈	富士市立
	柔道	女子 個人 48kg級	藤本 理帆	藤枝順心
2位	アーチェリー	女子 団体	—	浜松商
	陸上競技	男子 棒高跳	植松 倫理	浜松北
	陸上競技	女子 5000m競歩	溝田 桃子	伊豆中央
	水泳(競泳)	男子 400m自由形	小松 巧	飛龍
	柔道	女子 70kg級	村山のどか	市立沼津
	柔道	女子 78kg超級	滝川 真央	富士市立
	弓道	女子 団体	—	清水東
	登山	女子 団体	—	富士宮西
	自転車	3kmインディヴィデュアル・パーシュート	鈴木 康平	星陵
	陸上競技	男子 400m	加藤 修也	浜名
3位	陸上競技	男子 走幅跳	中村 亮	袋井
	陸上競技	女子 4×100mリレー	—	静岡市商
	陸上競技	女子 七種競技	豊田 梓	東海大翔洋
	陸上競技	女子 学校対抗	—	浜松市立
	水泳(競泳)	女子 400m自由形	浅山 美貴	磐田農
	サッカー	女子 団体	—	藤枝順心
	体操	女子 種目別 段違い平行棒	井上和佳奈	富士市立
	ボクシング	ライトフライ級	坪井 智也	浜松工
	空手道	男子 団体 組手	—	御殿場西
	空手道	女子 団体 組手	—	御殿場西
空手道	女子 学校対抗	—	御殿場西	

### 平成24年度 全国中学校体育大会結果

順位	競技	種目	氏名	学校名
1位	陸上競技	男子 800m	有川 湧貴	天竜
	陸上競技	男子 3000m	大田 智樹	浜名
	陸上競技	女子 200m	大竹 佑奈	高台
	陸上競技	女子 走幅跳	天城帆乃香	天竜
	陸上競技	女子 四種競技	藤森 菜那	入野
2位	陸上競技	女子 100mハードル	藤森 菜那	入野
	サッカー	男子	—	東海大翔洋
	柔道	女子 44kg級	鈴木 茉莉	藤枝順心
3位	陸上競技	男子 4×100mリレー	—	沼津第五
	陸上競技	男子 400m	有川 湧貴	天竜
	陸上競技	男子 走高跳	鈴木 開斗	浜北北部
	バスケットボール	女子	—	常葉学園
	陸上競技	女子 100m	大竹 佑奈	高台
	水泳(競泳)	女子 200m平泳ぎ	廣橋 彩海	蛸塚





# よりよい人間関係を築き、 集団への所属感を深める 話し合い活動

多様な価値観が表出する集団の中で、自信が持てず、人間関係に不安を感じたり、好まない人間関係を築けなかったりする子どもたちが増えています。

このような子どもたちが、将来、実社会で生きていくためには、違いや多様性を超えて折り合いを付け、自分を生かしながら共に生活していける資質や能力を育むことが大切で、

そのために、学級の課題をみんなで解決したり、活動の計画を立てたりするなどの話し合い活動は、よりよい人間関係を築き、集団への所属感を深めるための大切な場となります。

話し合い活動の重要性

「話し合い活動」の重要性

「話し合い活動」を通して育まれた資質や能力は、実社会で役立つ力となります。それによって、これからの共生社会を生きていく上で、とても重要な力です。

話し合い活動を通して育まれた資質や能力は、実社会で役立つ力となります。それによって、これからの共生社会を生きていく上で、とても重要な力です。

「ぼくは、リレーを3回やりたいです」  
「ぼくは、ドッジボールをやりたいです」  
「ぼくは、ドッジボールをやりたいです」

「話し合い活動」の重要性

## メンタルヘルスブックを改訂します!

「教職員のためのメンタルヘルスガイド」の作成

教職員の精神疾患の予防を図り、心の健康増進を支援するため、福利課と公立学校共済組合静岡支部は、平成13年度と平成17年度にメンタルヘルスの冊子を作成、配付してきました。しかし、現行の冊子は、刊行から6年以上経過しており、今回改訂することとしました。

昨年度、改訂委員会を設置し、学校関係者や教育団体から委員を委嘱して検討を行った結果、市販されている冊子を元本として、新たに「教職員のためのメンタルヘルスガイド」を作成することとなり、作業を進めています。新たな冊子は、10月中には、教職員の皆さんへ配付する予定です。

- 新たな冊子の内容
- ・教職員のメンタルヘルスの現状
  - ・早期発見のための様々な視点のチェックシート
  - ・互いに弱音を吐ける、支え合える職員室づくり
  - ・ストレスコントロール
  - ・精神疾患の基礎知識など



冊子の活用

職場内での研修や話し合いの資料としても利用できる内容となっておりますので、積極的に御活用ください。みんなで悩みを共有し、支え合える職場環境づくりを進めましょう。

## 不登校、ニート、ひきこもり等の 合同相談会&講演会

不登校やニート、ひきこもり等で悩みを抱えている本人やその御家族、教職員を対象に相談会を開催します。フリースクール、サポート校、就労支援団体、通信制・定時制高校、長期欠席生徒選抜実施県立高校等が相談ブースを設置し、相談に応じます。

前回8月の開催では、200余名の方が相談会に会場しました。相談件数は500件を超えています。講演会では支援についてのお話を伺います。

- 時間・内容(3会場共通)
  - 10:30~12:00 講演会(受付は10:00~)
  - 13:00~16:00 ブースごと相談会
- 会場と講演会の講師
  - 【静岡会場】11月17日(土)
    - 会場 男女共同参画センター「あざれあ」
    - 講師 県立こども病院 こともと家族のこころの診療センター長 山崎 透さん
  - 【三島会場】11月18日(日)
    - 会場 三島市民文化会館
    - 講師 日本福祉大学名誉教授 竹中 哲夫さん
  - 【浜松会場】12月2日(日)
    - 会場 アクシテイ浜松研修交流センター
    - 講師 NPO法人 文化学習協同ネットワーク代表 佐藤 洋作さん
- ※申込み不要。相談会への入場退場時間は自由。
- 問い合わせ先
  - 社会教育課総務企画班 054(221)3160

## 焼津青少年の家 チャレンジスクール2012冬

「明日に向かって歩こう」  
日常では味わえない体験にチャレンジしてみませんか。高草山への早朝登山、餅つき、門松作りなど、季節を、そして自然を感じる体験が盛りだくさんです。新しい仲間と素敵な思い出を作りましょう。

- ◇会場 焼津青少年の家及び焼津市内
- ◇期日 12月25日(火)~27日(木)
- ◇対象 小学4・5・6年生  
中学1年生
- ◇参加費 8,650円
- ◇応募方法 11月30日(金)17時までに電話にて申込み。
- ◇申込み・問い合わせ先 焼津青少年の家 054(624)4675



「ふじのくに文化の丘」  
「文化の丘」の学びを  
10月27日

「文化の丘」の学びを  
10月27日

「F-DITOR」

「F-DITOR」

「F-DITOR」

「おたのしみづくり」

「おたのしみづくり」

「おたのしみづくり」

「企画展示」

「企画展示」

「企画展示」

GRANSHIP 【これが本物の伝統芸能!グランシップ出前公演でも人気の国本武春が出演!】

グランシップ奇席  
落語・浪曲・講談で語る忠臣蔵

12月7日(金) 19:00開演 グランシップ 中ホール・大地

日本人なら年末にやっぱり聞きたくなる「忠臣蔵」を落語・浪曲・講談の語彙でお楽しみいただけます。

登場人物の会話を中心に、高度な技や細やかな表現方法が見どころの落語、三味線の伴奏で「節」と「歌囃」を織り交ぜながらテンポよく聞かせる浪曲、歴史上の物語を張弱で釈台を叩きながら、時間と空間を飛び越え、調子よく進めていく講談。

日本が誇る伝統的で多彩な語彙で「忠臣蔵」に迫ります。こんな質実な聴き比べはグランシップだけ!伝統芸能から歴史を知るきっかけづくりにも!

全席指定 / 一般 3,500円 学生 1,000円 中高生観賞プラン 800円  
【チケットのお申込み・お問い合わせ】 グランシップチケットセンター 054-289-9000  
グランシップホームページからも購入ができます。(中高生観賞プランについては、お電話でお問い合わせ下さい)

主催:財団法人静岡県文化財団・静岡県

林家あや子(落語) 国本武春(浪曲) 宝井駿之介(講談)